

第 9 回 企業フィランソロピー大賞贈呈式

日 時：2012年2月16日(木) 14:00 から
会 場：プレスセンターホール

特別賞 パンが運ぶ共生賞

株式会社パン・アキモト

本社所在地 栃木県那須塩原市東小屋
代 表 者 取締役社長 秋元 義彦
設 立 1947年12月

活動の名称：
救缶鳥プロジェクト

贈呈理由：

救缶鳥プロジェクトは、独自の技術により災害時の備蓄用非常食として開発したパンの缶詰を災害被災者や飢餓に苦しむ人々に供給するものである。特に、海外の飢餓で苦しむ人々への食糧支援物資としての役割は大きく、缶の大きさも現地の再利用に適するサイズにするなど、環境面も考慮され独創性に富むものである。パンの缶詰（救缶鳥）の賞味期間は通常3年であるが、学校、企業、自治体などを含む消費者から2年を経過した救缶鳥を100円で回収し、これを他の団体との協力により食料の不足した地域に届けようとするものである。非常食は賞味期間を過ぎれば入れ替えの上廃棄されるが、この入れ替えのための周期を工夫することにより支援物資として新たな使命を持つ物資に変わる。こうした仕組みにより災害支援、飢餓対策支援物資として送られた救缶鳥は2004年から昨年3月までで12万缶に達している。独自の技術でパンを缶詰にすることにより、誰もが出来る社会貢献のための物資に変える、また製造したものを廃棄することなくしっかりと消費するこのプロジェクトは社会貢献要素を取り入れた新しいビジネスモデルをも提案するものであり、震災を機に広く詳らかにしたい好例である。